



2011年3月期 決算説明会

2011年5月16日

代表取締役社長
實吉 繁幸

	ページ
2011年3月期決算	…… 3 – 14
当社の経営戦略	……16 – 22



2011年3月期決算

● 経営環境(中期的なトレンド)

- 経営の効率化・リスクマネジメント強化、医療のIT化
- 医療費抑制策は継続、予防医療・医療過誤抑制への動き
拡大 ⇒ 新たな市場 ⇒ この市場へ積極的に新製品投入
- ROBOの国内市場開拓率:大病院 67%、中病院 11%
- 輸出:新市場開拓と既存市場の拡充(特に成長期入り市場)

● 前期の経営環境

- 診療報酬のプラス改定 : ROBOの更新需要(大病院)で改善
- 円高基調の定着だが、成長期入り市場でROBO販売が拡大
- 東日本大地震では、期末までに製品納入を完了

主な取組み

➤ ROBO

大病院 ⇒更新需要の捕捉 ⇒売上総利益率改善
中病院 ⇒新規開拓の加速 ⇒伸び悩み
健診センター⇒販路拡大

➤ 検体検査装置

検査室、緊急検査、手術室、産科、診療所及び
動物病院、小病院へも販路拡大

➤ 輸出の拡大

円高の定着、成長期入りのアジアでROBO販売が拡大

➤ 新製品

静脈可視化装置：ROBOと併売、麻酔科・小児科へ販売
酸化ストレスマーカー：販路開拓（小児科、NICU、健診、スポーツ
医学、クリニック、研究室等）

2011年3月期決算-3

決算サマリー

	2010年3月期		2011年3月期		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高 (期初見通し) (3/14修正見通し)	7,055 (7,835)	100.0 (100.0)	7,559 (8,225) (7,548)	100.0 (100.0) (100.0)	+ 7.1 (+ 16.6) (+ 7.0)
営業利益 (期初見通し) (3/14修正見通し)	1,270 (1,584)	18.0 (20.2)	1,451 (1,644) (1,354)	19.2 (20.0) (17.9)	+ 14.3 (+ 29.4) (+ 6.6)
経常利益 (期初見通し) (3/14修正見通し)	1,274 (1,588)	18.1 (20.3)	1,455 (1,647) (1,356)	19.2 (20.0) (18.0)	+ 14.2 (+ 29.3) (+ 6.4)
当期純利益 (期初見通し) (3/14修正見通し)	784 (961)	11.1 (12.3)	933 (978) (827)	12.3 (11.9) (11.0)	+ 19.0 (+ 24.7) (+ 5.5)
1株当り純利益(円)	26,851	----	31,970	----	+ 19.1
1株当り純資産(円)	257,102	----	281,472	----	+ 9.5

3/14修正見通しとの乖離: 研究開発費 66百万円支出が翌期へ。

2011年3月期決算-4

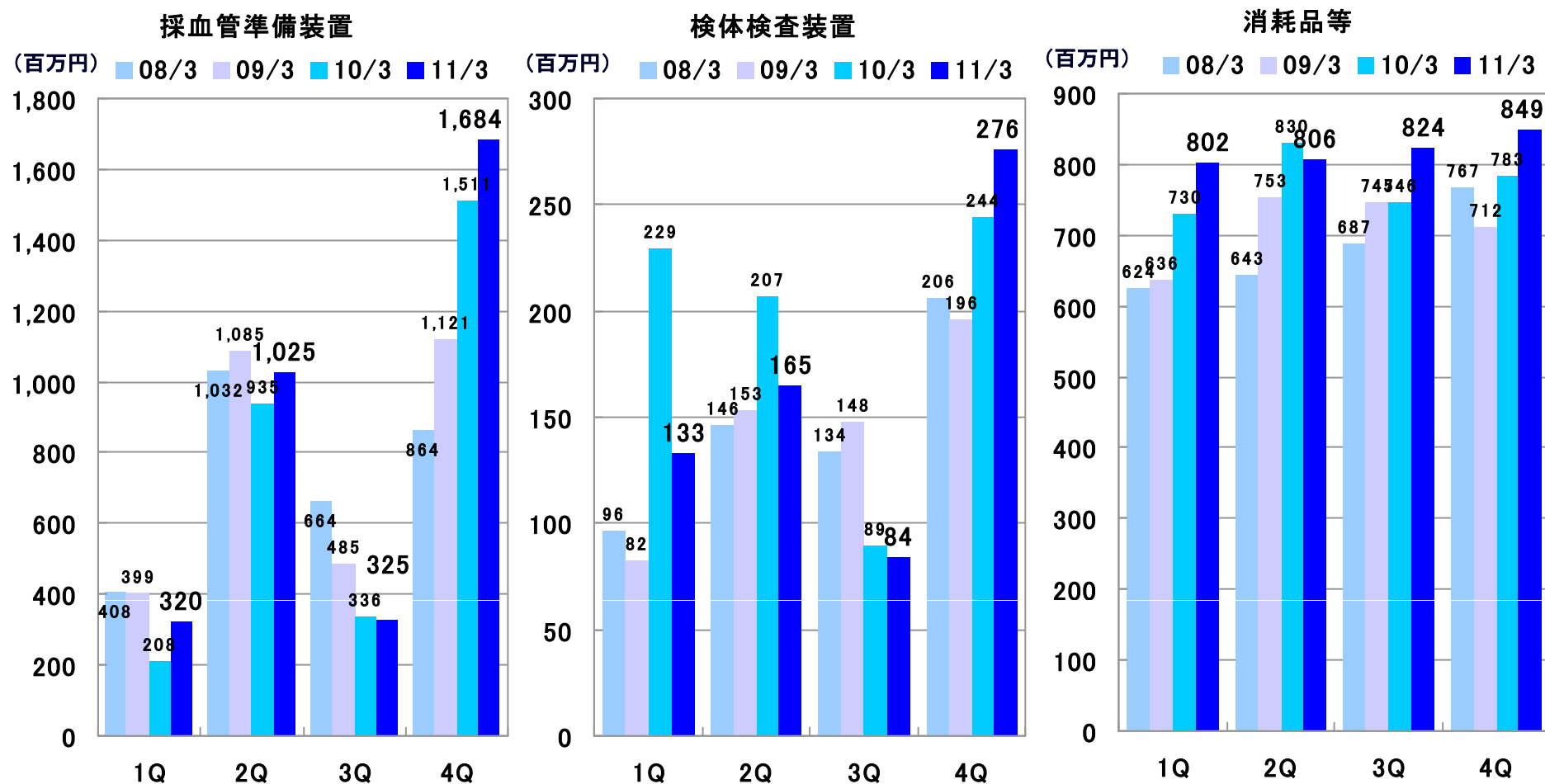
品目別売上高

(単位:百万円)

	2008年	2009年	2010年	2011年	
	3月期	3月期	3月期	3月期	前期比(%)
採血管準備装置	2,969	3,091	2,991	3,357	+ 12.2
構成比(%)	44.5	45.9	42.4	44.4	+ 2.0pt
検体検査装置	583	581	770	660	△ 14.3
構成比(%)	8.7	8.6	10.9	8.7	△ 2.2pt
消耗品等	2,721	2,847	3,091	3,282	+ 6.2
構成比(%)	40.8	42.3	43.8	43.4	△ 0.4pt
その他	392	209	201	258	+ 28.4
構成比(%)	5.9	3.1	2.9	3.4	+ 0.6pt
合 計	6,668	6,730	7,055	7,559	+ 7.1

2011年3月期決算-5

品目別売上高(四半期別)



採血管準備装置－ROBO納入施設数

	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期
納入施設数	240	216	245
国内	183	180	174
(中間決算時見通し)			(245)
内、新規	92	70	66
(中間決算時見通し)			(111)
内、更新	91	110	108
(中間決算時見通し)			(134)
輸出	57	36	71

・国内の納入推移(含む更新)

	08/3	09/3	10/3	11/3
大病院	74%	71%	68%	72%
中病院	24%	28%	31%	26%
その他	2%	1%	1%	1%

・平均納入単価(国内＋輸出)

’11/3:13.7百万

(’10/3:13.9百万円)

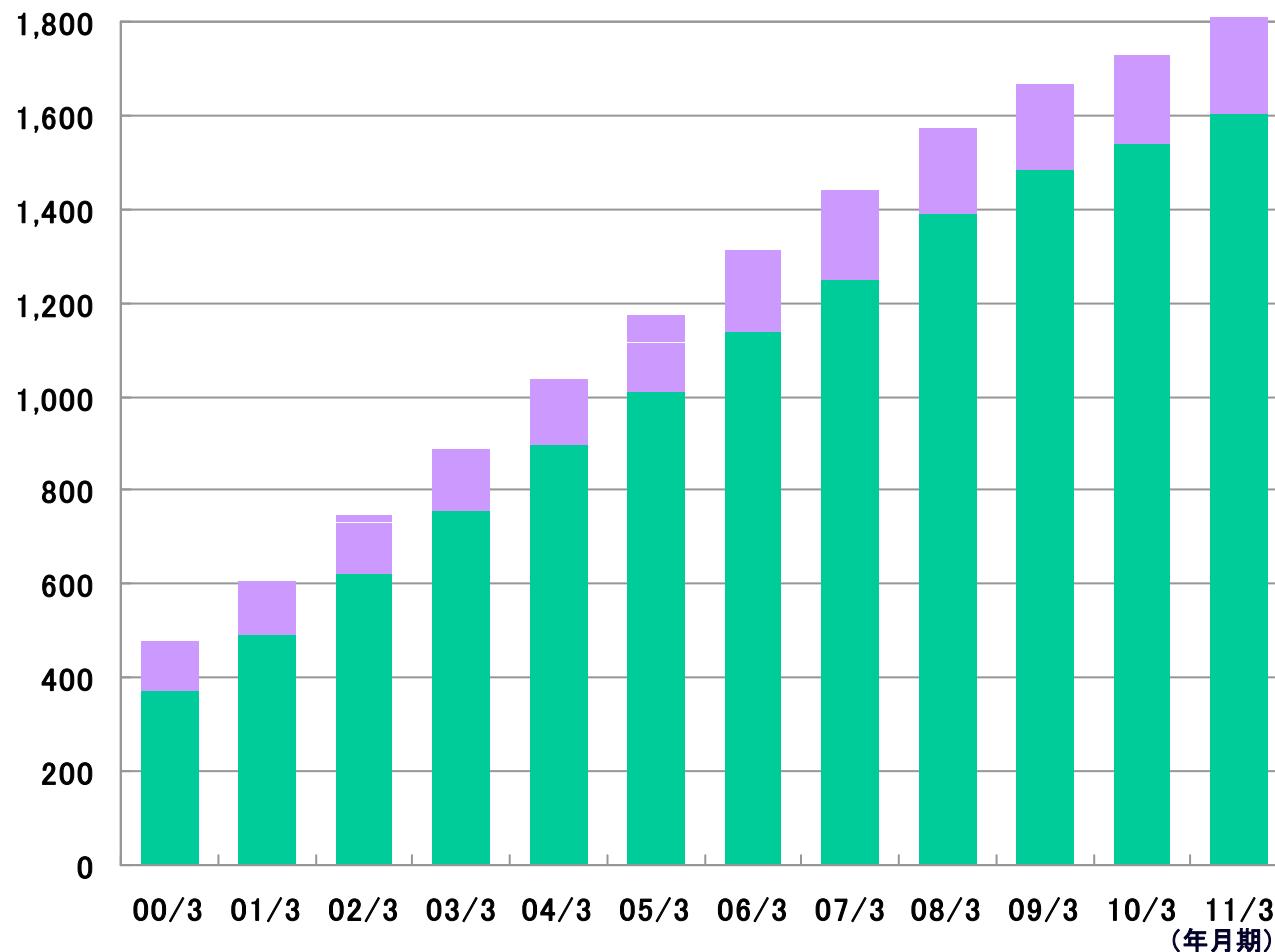
←輸出の平均納入単価増加、
粗利率改善

・国内:中病院で納入数鈍化

・輸出:アジアで改善。

採血管準備装置－納入施設の推移

(累計施設数)



他社納入数
(202施設)

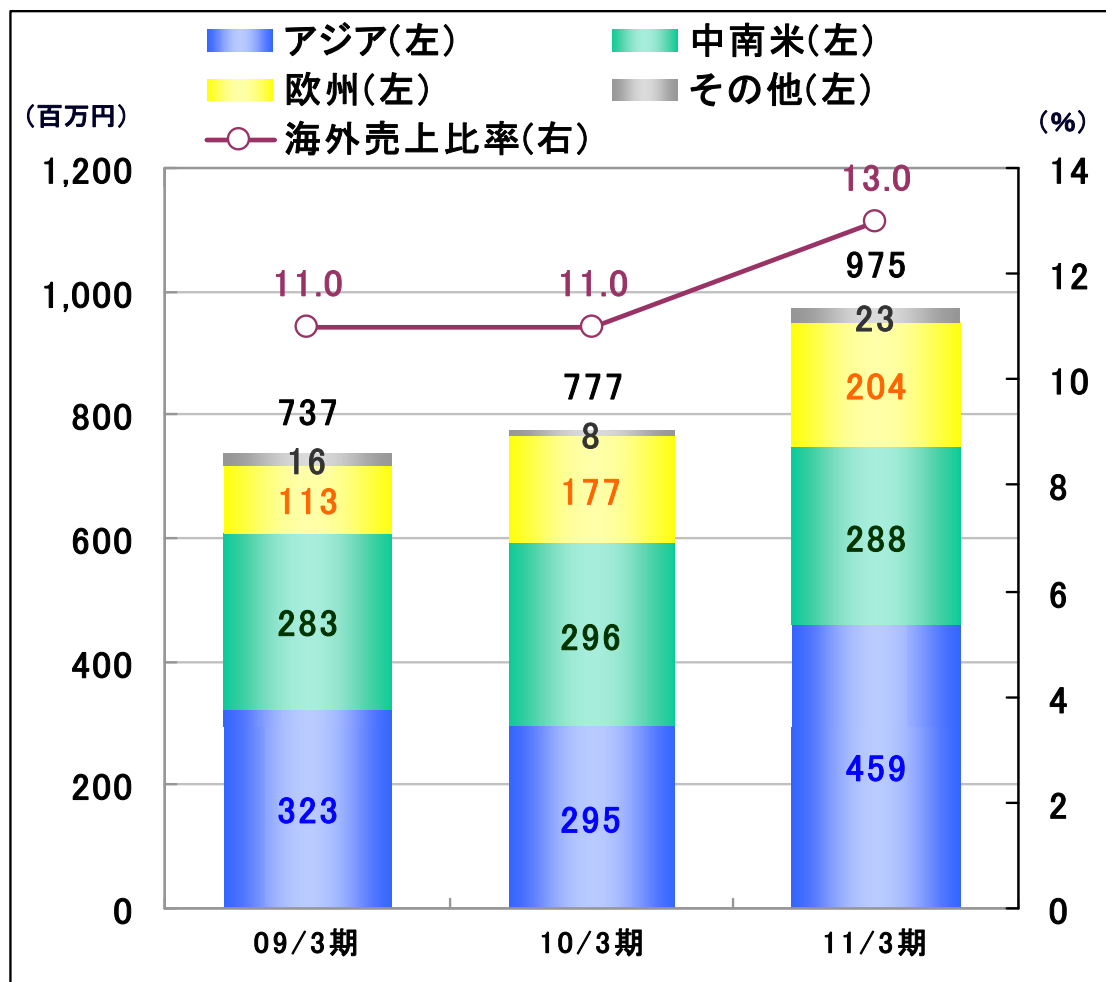
当社納入数
(1,605施設)

シェアー 88.8%

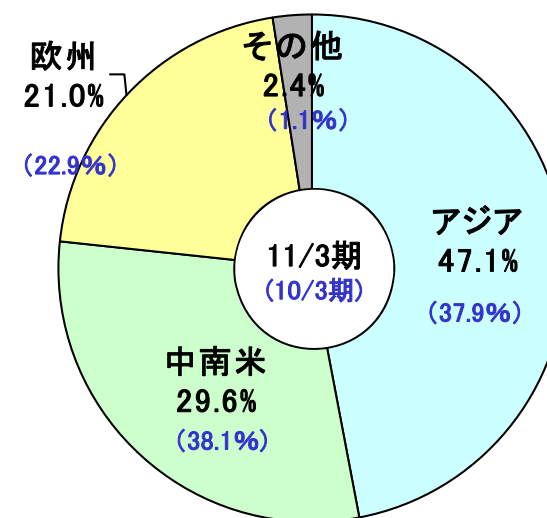
(出所: 当社データ)

2010年3月期決算-8

海外売上高



地域別の売上構成比



11/3期:アジアでのROBO
の売上が寄与
10/3期:中米での分析器
の売上が寄与

2011年3月期決算-9

要約損益計算書

(単位:百万円、%)

	2010年3月期		2011年3月期		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	7,055	100.0	7,559	100.0	+ 7.1
売上原価	3,876	54.9	3,766	49.8	△ 2.8
売上総利益	3,179	45.1	3,793	50.2	+ 19.3
販売管理費	1,908	27.0	2,342	31.0	+ 22.7
営業利益	1,270	18.0	1,451	19.2	+ 14.3
営業外損益	3	0.0	4	0.1	+ 33.3
経常利益	1,274	18.1	1,455	19.2	+ 14.2
特別損益	0	0.0	0	0.0	
法人税等	492	7.0	579	7.7	+ 17.7
法人税等調整額	△ 2	△ 0.0	△ 59	△ 0.8	
当期純利益	784	11.1	933	12.3	+ 19.0

要約貸借対照表【資産の部】

	2010年3月末		2011年3月末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
流動資産	8,464	84.0	9,010	84.9	+ 546
現預金	3,696		4,153		+ 457
売上債権	3,673		3,566		△ 107
棚卸資産	1,037		1,247		+ 210
その他流動資産	58		43		△ 15
固定資産	1,607	16.0	1,605	15.1	△ 2
有形固定	1,334		1,300		△ 34
無形固定	9		8		△ 1
投資等	264		296		+ 32
資産合計	10,072	100.0	10,616	100.0	+ 544

装置部品の調達
期間長期化あり
一回当り発注量
の増加で対応

要約貸借対照表【負債・純資産の部】

	2010年3月末		2011年3月末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
流動負債	2,218	22.0	2,044	19.3	△ 174
買入債務	1,563		1,115		△ 448
短期有利子負債	144		100		△ 44
その他流動負債	509		829		+ 320
固定負債	346	3.4	352	3.3	+ 6
長期借入金	0		0		+ 0
その他固定負債	346		352		+ 6
負債合計	2,565	25.5	2,397	22.6	△ 168
純資産合計	7,507	74.5	8,218	77.4	+ 711
負債・純資産合計	10,072	100.0	10,616	100.0	+ 544

未払金 +146
未払法人税 +158

要約キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2010年3月期 金額 (百万円)	2011年3月期	
		金額 (百万円)	増減額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	683	744	+ 61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 286	△ 142	+ 144
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 293	△ 267	+ 26
現金・現金同等物の増加額	104	335	+ 231
現金・現金同等物の期首残高	2,178	2,282	+ 104
現金・現金同等物の期末残高	2,282	2,618	+ 336
研究開発費	414	690	+ 276
設備投資実施額	155	17	△ 138
減価償却実施額	38	43	+ 5

売掛金・買掛金のバランス改善を継続実施し、資金効率改善に努め、営業C.F.が拡大



当社の経営戦略

2012年3月期業績見通し

	2011年3月期		2012年3月期（予）		
	金額（百万円）	百分比（％）	金額（百万円）	百分比（％）	前期比（％）
売上高	7,559	100.0	8,225	100.0	+ 8.8
営業利益	1,451	19.2	1,644	20.0	+ 13.3
経常利益	1,455	19.2	1,647	20.0	+ 13.2
当期純利益	933	12.3	978	11.9	+ 4.8

研究開発費	690	9.1	475	5.8	△ 31.2
設備投資額	17	0.2	4	0.0	—
減価償却費	43	0.6	43	0.5	+ 0.0

- ・東北地方：
- 影響
軽微
- 当社装置の既納入施設のうち、使用不能施設数
- 採血管準備装置……………2施設
 - 検体検査装置……………3施設
- 消耗品の供給：仕入先工場被災だが、3月末迄に
首都圏工場から出荷。

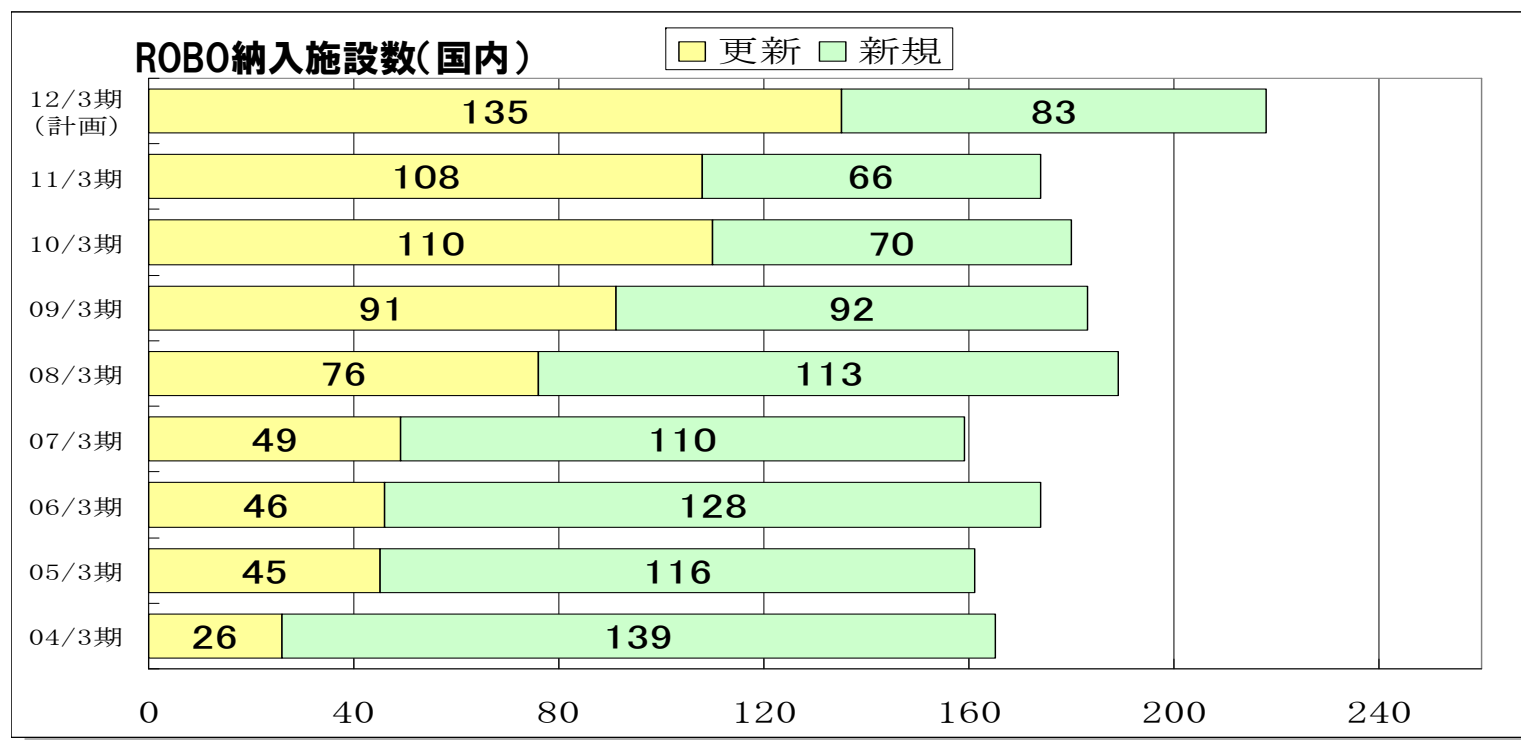
・平成23年度への影響

- 東北地方の
市場規模
- ・全国GDPに占める率 ……6.5%
 - ・全国病院数に占める率……7.3%
 - ・平成23年度に仙台支店・盛岡営業所
が売上高に占める率……………6.2%

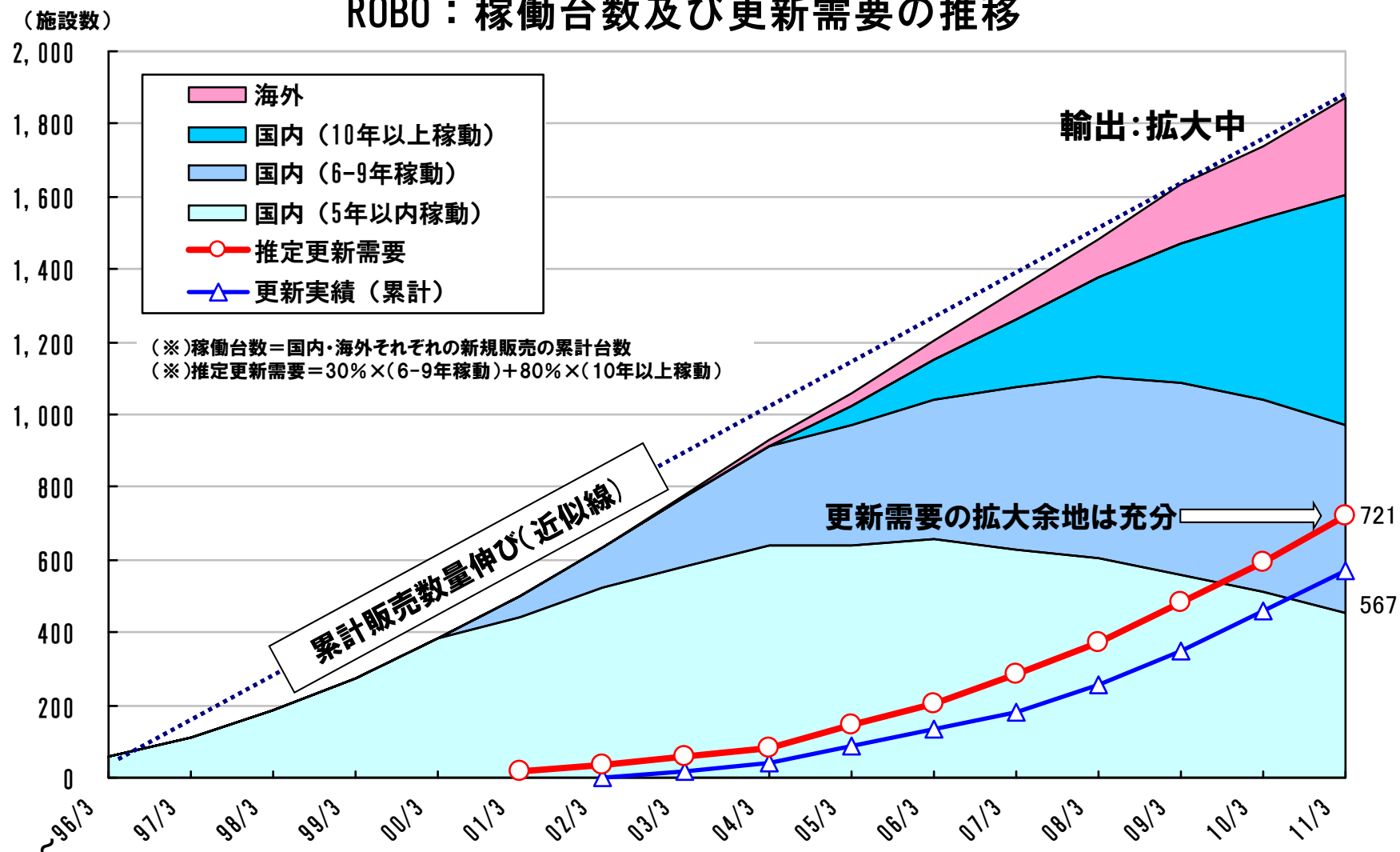
今期の課題①

➤ ROBO

- ◆ 引続き更新需要(国内大病院向け)の着実な捕捉
- ◆ 輸出拡大(新市場・既存市場の内 成長期入市場で飛躍)



ROBO：稼働台数及び更新需要の推移



◆ 今期の課題②

➤ 検体検査装置

- ◆ 引続き販路拡大
- ◆ 後継新製品の販売強化

➤ 輸出の拡大

- ◆ 新市場の開拓
- ◆ 既存市場での販売体制の強化

➤ 新製品

- ◆ 静脈可視化装置「Stat**Vein**」
小児科・麻酔科等の新規販路開拓
- ◆ 酸化ストレスマーカー
新規販路開拓(大学の研究室等)
- ◆ ヘルスケア製品のラインアップ'拡充を実施中



血液ガス分析装置
「G-1800シリーズ」



ハンディ型血液ガス分析装置
「GASTAT-navi」



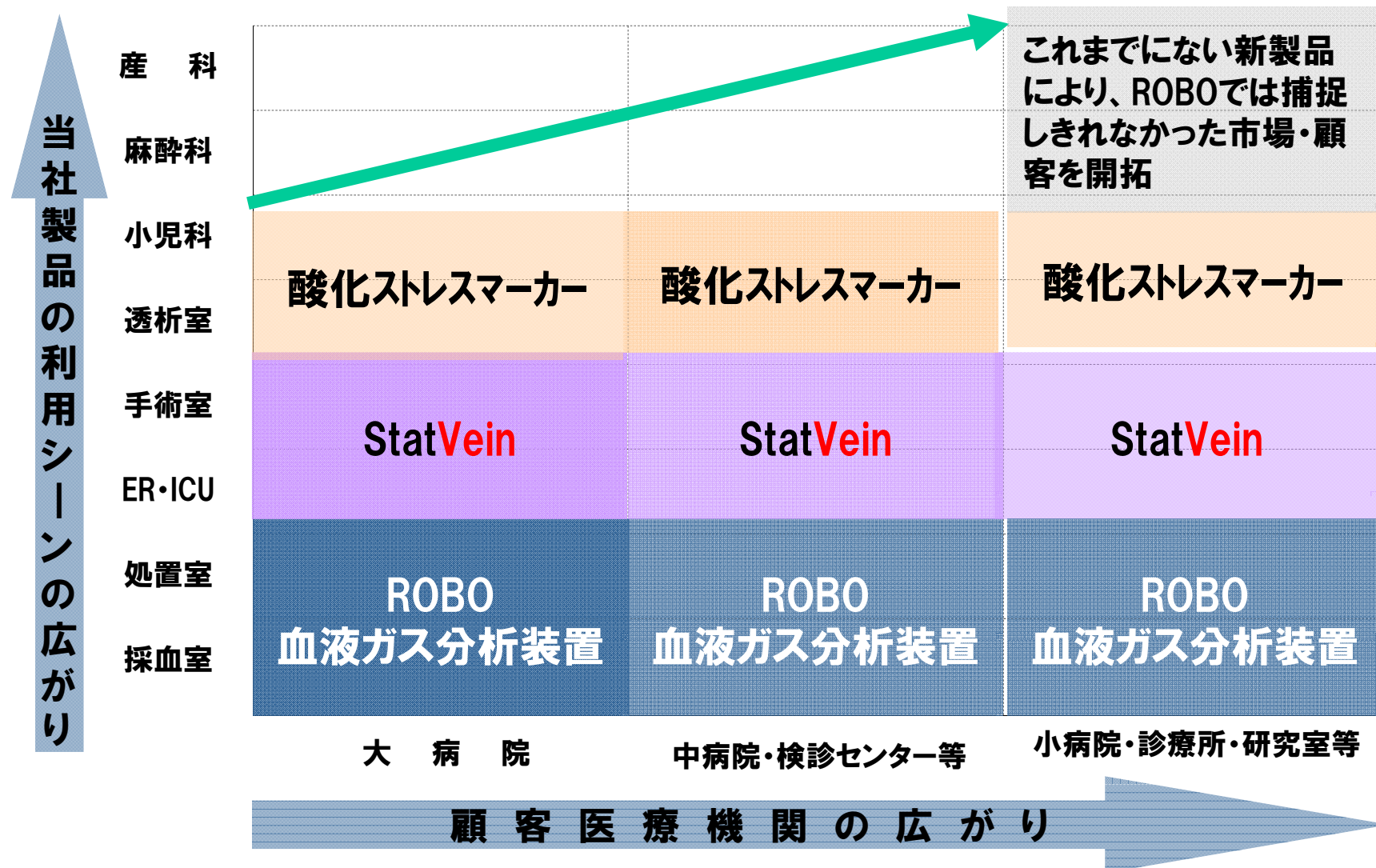
非接触型静脈可視化装置
「Stat**Vein**」



尿中酸化ストレスマーカー
(8-OHdG)測定システム

当社の経営戦略-5

新製品を武器として新市場・新規顧客を開拓



中期事業計画(2011/3期～2013/3期)

最重要テーマ

➤ スケールアップ

● 売上高伸び率目標 +12.5%～+15.0%

➤ 高収益率

● 売上高経常利益率 20%

課題と施策

- ① 市場創出型新製品の上市←R&Dの選択と集中
- ② 輸出売上の飛躍的拡大
- ③ 今後急増する国内ROBO更新需要の確実な捕捉

<注意事項>

当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるよう、お願い致します。